

事業 No.	事業名	所管課	事業概要	平成30年度の実施計画	平成30年度実施状況	H30年度 評価	成果の目標				令和元年度の実施計画	現状開 通達成度	5か年(H27～R1)の実績及び達成度を巡る理由
							指標名	R1年度目標値	H30年度実績値	H29年度実績値			
88	公共交通整備事業	交通対策課	妊婦や子ども、ベビーカーを使用する保護者といった自動車を運転しない市民でも、公共交通機関を利用して、駅、官公庁施設、病院などを移動できるまちを目指す。コミュニティ運営協議会と協働し、ふれあいバスとコミュニティバスの路線及び時刻表の見直しを行い、利用者の利便性の向上に取り組む。	バスの運行管理、ふれあいバス及びコミュニティバスの運行計画改定、利用促進に向けた取り組みや利用者へのアンケートの実施、大島地区タクシー料金の協議会の開催、地域公共交通形成計画の推進	利用者へのアンケートを実施、各地区コミュニティ運営協議会にその内容を提供するとともに、協議会を通じて地域住民の意見を集約、地区コミュニティ運営協議会とともに検討してコミュニティバスの運行計画を改定した。 また、大島地区タクシー料金助成事業、地域交通安全講座などについても予定どおり実施し、破損した路線バスのバス停上屋の修繕、ふれあいバスの事故といった突発した事件にも対応済み	B	年間利用者数	166,000人	185,925人	186,849人		A	成果目標である年間利用者数が目標とする166,000人を超えている
89	公園整備事業	建設課	子どもやベビーカーを使用する保護者が安心して利用できるよう公園整備を行う。段差の解消や犯罪などの防止など子育て世代のニーズに即した環境設計を行う。	(関連事業なし)	関連事業の実施なし	E			—		(関連事業なし)		関連事業の実施がないため、評価できない。
90	道路新設改良事業	建設課	市民や市外から訪れる人が、安全で快適に市内を移動することが出来る道路網を整備する。段差の解消や通学路の安全確保に向けた歩道などの整備など、子どもを含めた市民にとって安全な道路整備を行う。	測量設計業務委託の実施、用地補償の交渉、道路整備工事を実施する。	用地取得8か所、測量設計7か所、工事実施箇所6か所	B	工事実施箇所数	—	6か所	10か所		B	各年度で若干の進捗率の差があるが計画期間において、予定する工事が実行できている。
91	住宅相談事業	建築課	市民または宗像市に転入しようと考えている人が、住宅に関する不安や悩みを速やかに解消できるよう協働による住宅相談窓口の充実を図る。子育て世代に対し、住環境の面から子どもにやさしく、子育てしやすい住宅の情報を提供し、また、若年未婚世帯や大学生にはライフスタイルに応じた間取りや住宅デザインなどの情報を提供する。	誰もがいつでも安心して相談できる窓口をメイトム内の「住まいと暮らしの情報センター」に設置し、130日以上開設し拡充を図る。「住まいと暮らしの情報センター」の機能を有効に利用して、より充実した相談体制を提供していく。回覧チラシの配布、一般広報紙への掲載、ホームページの更新、イベントでのPRなどにより周知活動を行い、さらなる認知度向上を図る。また、相談員の能力向上のため、住まいに関する研修会の開催や国県などの新しい取り組みについて情報を共有化していく。 平成30年度より、宗像市空家等対策推進包括連携協定に基づき「宗像市空家等管理サービス」の相談窓口業務を本格的にスタートさせる。	誰もがいつでも安心して相談できる窓口をメイトム内の「住まいと暮らしの情報センター」に設置し、150日以上窓口開設することで、相談体制の拡充を図る。周知活動については、回覧チラシの配布、イベントでのPRなどを行った。また、相談員の能力向上のため、住まいに関する研修会を開催した。「宗像市空家等管理サービス」については、相談窓口業務の新規業務として本格的に始動した。	B	住宅相談件数	400件	423件	387件		B	相談体制の拡充や周知活動の実施により、相談件数も順調に伸びているため。
92	男女共同参画推進事業	男女共同参画推進課	男性と女性いまいきよく働けることができ、家族との充実した時間や地域活動への参加の時間が持てるなど健康で豊かな生活が送れるよう、仕事と家庭の調和の実現を目指す。固定的性別役割分担意識の解消を図り、家庭で家事や子育てをともに担うことの大切さを啓発する。男女共同参画推進センターを拠点とし、男女共同参画の視点に立った講演会や座談会の開催、男女共同参画に関する情報収集と情報提供に取り組む。	男女共同参画推進センターで実施する講座や、講演会等の実施により、ワークライフバランスや固定的性別役割分担意識の解消を図り、家庭内で家事や育児をともに担う大切さについて啓発する。第2次男女共同参画プラン(後期)の適切な進捗管理を行い、関係課とともに男女共同参画社会の実現をはかる。	男女共同参画週間にあわせ、ゆいフェスタ2018とNPO法人ファザリングプロジェクト代表理事安藤哲也氏の講演会(仕事も育児も楽しむ「チーム子育て」のすすめ)を開催し、男女共同参画意識の醸成を促した。 男女共同参画話し合いを2回開催、プラン対象団体に年間のヒアリングを実施するとともに、進捗管理を行った。 地域での男女共同参画意識の醸成を図るため、コミュニティ運営協議会への訪問を行った。	B	男女共同参画プラン事業達成度B以上の事業	98%	95.40%	97%		B	男女共同参画推進センターで実施した講座の参加者がおおむね計画どおりであり、かつ満足度も高かったこと、また、男女共同参画プランの進捗管理における成果指標がおおむね計画通りであるため。
93	男女共同参画推進センター事業	男女共同参画推進課	親子や参加しやすい講座を企画し、夫婦ともに子育てをするきっかけ作りや意識啓発を図る。特に、男性の子育て参画を促し、子育て力向上を支援する。子育てでいったん仕事を中断した方の再チャレンジを支援するため、就労支援を目的とした資格取得講座の充実を図る。	男女共同参画推進センターで実施する講座を中心に増加を目指す。 夫婦とともに子育てに関わることでできる環境を目指し、子育て支援、男性の家庭参画等の講座を実施する。 妊娠・出産等で離職した方の再就職につながるよう、資格取得講座や、就職支援講座を実施する。	父子科教室、親子でわくわく木工教室等の講座を実施した。 チャレンジ支援として、介護事務・エクセル3級・医療事務検定の講座を開講した。 PTAやコミュニティと共生で7講座を実施した。	B	講座等参加者数	—	1,470人	2,662人 1,809人		B	男女共同参画推進センターにおいて、夫婦とともに子育てに関わることでできる環境を目指し、子育て支援、男性の家庭参画等の講座を実施する。また、妊娠・出産等で離職した方の再就職につながるよう、資格取得講座や、就職支援講座を実施する。
94	市民安全対策事業	地域安全課	宗像市内で犯罪が減少し、安全に安心して暮らせるまちになることを目指す。	・住マイモなかたとの協働事業による防犯環境設計事業、防犯セミナー、防犯診断の推進。 ・市内関係部署、宗像警察署及び宗像防犯協会との連携強化を推進。各コミュニティ運営協議会との市内一斉防犯パトロールの実施により、市民の防犯意識の向上。 ・空き地、空き家の適正管理に関する措置等。	住マイモなかたとの協働事業を実施した。また市内一斉パトロールについては、各コミュニティ協議会と連携して実施した。空き家空き地の定期性管理についても適宜対応した。	B	刑法犯認知件数	960件	627件	900件		B	・住マイモなかたとの協働事業による防犯環境設計事業、防犯セミナー、防犯診断の推進。 ・市内関係部署、宗像警察署及び宗像防犯協会との連携強化を推進。各コミュニティ運営協議会との市内一斉防犯パトロールの実施により、市民の防犯意識の向上。
95	交通安全対策事業	地域安全課	地域や市民活動団体と協働し、地域の安全性を高めるための防犯活動や交通安全活動に取り組む。春・秋の交通安全早期指導を行う。広報誌の発行や宗像警察署及び宗像地区交通安全協会と連携し、交通安全啓発活動を行う。危険性のある道路環境の改善のため道路管理者や宗像警察署に要望を行う。	春・秋の交通安全早期指導を行う。広報誌の発行や宗像警察署及び宗像地区交通安全協会と連携し、交通安全啓発活動を行う。危険性のある道路環境の改善のため道路管理者や宗像警察署に要望を行う。	交通安全早期指導を実施した。また、交通安全啓発活動については、宗像警察署と協力して実施した。加えて、改善提案等による要望についても、宗像署と連携して対応した。	B	交通安全死亡事故発生件	—	4件	3件		B	春・秋の交通安全早期指導を行う。広報誌の発行や宗像警察署及び宗像地区交通安全協会と連携し、交通安全啓発活動を行う。危険性のある道路環境の改善のため道路管理者や宗像警察署に要望を行う。
100	赤ちゃんの駅	子ども育成課	乳幼児を育児中の保護者が、安心して外出できるよう子育て環境の充実を目指す。赤ちゃんの駅実施ガイドラインを策定し、赤ちゃんの駅シンボルマークと貸出用授乳シートを作成。市内の事業所等に向けて赤ちゃんの駅への理解、協力を促す。乳幼児を子育て中の保護者に対し、赤ちゃんの駅について普及・PRを図る。	赤ちゃんの駅は、引き続き普及・PRを図り登録業者の増加を目指す。市内の事業所等の理解、協力を得て、赤ちゃんの駅の普及・PRを図る。	赤ちゃんの駅の普及・PRを図ったが、新規登録事業者は0件。	C	赤ちゃんの駅登録数	50ヶ所	34ヶ所	34ヶ所		B	赤ちゃんの駅のPRを毎年行い登録業者の増加を目指した。赤ちゃんの駅の普及・PRを図る。
101	田舎石畑道跡管理運営事業	文化財課	村っ子づくりいせきんぐ事業を継続し、子どもの見守りやいせきんぐを生活した体験学習を開催することで、地域の子ども達が宗像の歴史や文化に関心ややりがいをもち、入園者数の増加につなげる。	村っ子づくりいせきんぐ事業を継続し、子どもの見守りやいせきんぐを生活した体験学習を開催することで、地域の子ども達が宗像の歴史や文化に関心ややりがいをもち、入園者数の増加につなげる。	平成30年4月1日～平成31年3月31日の間の週2回(原則、祝日・学校の休み期間除く)の15～17時に開催、宿題指導、見守り、歴史体験学習(土器パズル・機織り・大黒づくり等)を実施した。延べ78日開催、561人の参加があった。	B	年間入園者数の総計	30,000人	28,129人	28,514人		B	平成31年4月11日～令和2年3月31日の間の週2回(祝日・学校の休み期間除く)の15～17時に開催、宿題指導、見守り、歴史体験学習(土器パズル・機織り・大黒づくり等)を市民団体(田舎石畑道跡村づくりの会)に協働委託し実施する。
102	子どもの未来応援ネットワーク支援事業	子ども育成課	子どもの発達・成長段階に応じた切れ目ない「つなぎ」、教育と福祉を「つなぎ」、関係行政機関、地域の企業、NPO、自治会などを「つなぎ」地域ネットワークの形成を支援するために必要な調査を行い、整備計画を策定する。 また、その整備計画を実現していくための関係者間の協力関係の構築に向け、上記3つのつなぎを実現することができる人材・機関(コーディネーター)の位置づけを含む具体的な体制整備を行う。 整備計画に基づいて、地域の資源を活かした事業を市民協働方式により実施する。 先行的なモデル事業・モデル地域を選定して実施。モデル事業の成果を踏まえ、他地区への拡大を検討する。	「宗像市子どもの未来応援計画」策定時に行った調査により、市内各地区の子どもを取り巻く環境について把握、分析し、2地区を選出。その2地区について、「地域の未来応援交付金」を活用し、地域と行政担当者と連携して事業を実施する。	大島地区において、コミュニティ運営協議会、企業、学校と協議を行い、平成30年9月より中学生対象の101を利用した学習支援事業「おおしまネット寺子屋」を開始した。(子どもの未来応援交付金1/2補助) 他地区についても新たな事業実施を検討したが、実施することができなかった。	C	おおしまネット寺子屋の利用者満足度(アンケート結果)	—	100%	—		C	事業実施の成果(アンケートによる満足度)があったと考えるため、放課後子ども総合プラン事業に移行し、「おおしまネット寺子屋」事業を継続していく。 地域における新たな学習支援事業を開始することができ、参加者の満足度も高かった。